

村山市立小学校西部地区統合準備委員会（第8回）

日時 令和7年11月27日（木）18:30～

場所 農村環境改善センター 多目的ホール

議事 次第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議 事

（1）事業報告・今後の予定等について 【資料1】

（2）No.34 給食施設、No.37 通学距離別通学方法（協議）、【資料2】

No.41 学童保育（報告）

（学校運営部会）

（3）No.58 校舎改修設計（実施設計進捗報告）【別紙】

（校舎整備部会）

（4）No.5 制服・体操着（協議）【資料3】

（総務部会）

（5）その他

5 閉 会

第8回村山市立小学校西部地区統合準備委員会出欠者名簿

□委員

(順不同・敬称略)

No.	カテゴリー	氏名	所属団体等	所属部会	備考
1	地域代表	奥山 陽介	大久保地域代表	校舎整備	
2		石川まゆみ	富本地域代表	地域連携	
3		青柳 孝雄	村山戸沢まちづくり協議会長	総務	委員長
4		佐藤 紀彦	大高根地域代表	校舎整備	
5	学校保護者	佐藤 喬一	村山市立大久保小学校PTA会長	地域連携	副委員長
6		小林 陽介	村山市立富本小学校保護者	学校運営	
7		青柳 悠平	村山市立戸沢小学校保護者	総務	
8		井上結香子	村山市立富並小学校保護者	学校運営	(欠席)
9		伊藤 真司	村山市立葉山中学校PTA副会長	校舎整備	
10	認定こども園代表	奥野 直樹	村山市はやま認定こども園保護者	学校運営	
11		黒沼 梢	認定こども園ふたば大高根保育園保護者代表	地域連携	(欠席)
12	小中学校代表	尾崎 惣	村山市立大久保小学校長	教育課程	
13		鈴木 郁子	村山市立富本小学校長	教育課程	
14		高橋 文明	村山市立戸沢小学校長	教育課程	
15		工藤 美紀	村山市立富並小学校長	教育課程	
16		早坂 智	村山市立葉山中学校長	教育課程	

□事務局（村山市・村山市教育委員会）

No.	所 属	氏 名	兼 務	主担当部会	備考
1	教育長	大内 敏彦		-	
2	学校教育課 課長	細谷 充	学校統合推進室 室長	総務	班長
3	教育指導室 室長	村田 紳	学校統合推進室 室長補佐	教育課程	副班長
4	学校教育課 課長補佐	高橋 留美		総務	副班長
5	庶務主査	秋久保洋紀	学校統合推進室 推進主査	学校運営	班長
6	庶務係長	鈴木 夕佳		総務	副班長
7	栄養業務員	石山 陽子		学校運営	(欠席)
8	施設係長	細谷 祐太	学校統合推進室 推進係長	校舎整備	班長
9	学事主査（兼）係長	森 忠昭		学校運営	副班長
10	主事	海老名秀喜		校舎整備	副班長
11	指導主査（兼）指導主事	森谷 洋子		教育課程	副班長
12	指導係長（兼）指導主事	半澤 宏樹		地域連携	副班長
13	学校統合推進員	井澤 豊隆	学校統合推進室 学校統合推進員	地域連携	班長
14	学校統合推進員	笛原 聰	学校統合推進室 学校統合推進員	教育課程	班長
15	生涯学習課 課長補佐	柴崎 造		地域連携	(欠席)
16	主事	大山 温子		地域連携	
17	子育て支援課 課長補佐	菅原 憲一		学校運営	
18	子育て支援課 主任	滝口 雄太		学校運営	

※事務局担当者は、記載されている主担当部会の他にも所属している部会があります。

村山市立小学校西部地区統合準備委員会 資料

1 事業報告

No.	期日	曜日	事業名	会場
1	9月25日	木	第7回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
2	10月1日	水	むらやま統合タイムズ（第4号）発行	
3	10月2日	木	校舎整備部会作業班打合せ⑤	農村環境改善センター
4	10月9日	木	地域連携部会作業班打合せ②	〃
5	10月21日	火	総務部会作業班打合せ③	村山市役所内
6	10月27日	月	第3回葉山学園制服分科会・第4回総務部会	農村環境改善センター
7	11月14日	金	学校運営部会作業班打合せ④	葉山中学校
8	11月20日	木	第4回学校運営部会	農村環境改善センター
9	11月27日	木	第8回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	〃

2 事業予定

No.	期日	曜日	内容	部会
1	12月23日	火	第1回総合教育会議	村山市役所内
			予定議案 (1) 葉山学園基本設計書（改修概要、事業費等） (2) 大久保小学校給食施設改修 (3) スクールバス関連	

3 今後の会議予定(案)

No.	期日	曜日	事業名	会場
1	1月27日	火	第9回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	村山市農村環境改善センター
2	3月26日	木	第10回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	〃
			※各専門部会、作業部会、分科会は隨時開催	小会議室 等

(2) No. 34 給食施設

協議事項 大久保小給食施設改修について

- ① 給食施設の改修範囲について（全面改修に変更）
- ② 改修中の給食提供について（西郷小学校より搬入）
- ③ 工期について（令和9年9月着工に変更）

① 給食施設の改修範囲について

当初、北側搬入口のまま調理室を施設の2/3まで拡張することを想定していたが、搬入・搬出口を南側に設置することの効率性や、調理者が4名程度増加することに伴う休憩所の確保などを考慮すると、施設全面の改修が望ましく、予算も変更がない見込み。

《委員からの主な意見等》

- ・特になし

② 改修中の給食提供について

施設の全面改修によって、改修工事中は他施設からの給食搬入が必要となる。令和9年度時点での搬入数は約60食となる見込みで、以下の案を検討した結果、西郷小学校からの搬入としてはどうか。

【案1】天童給食センターへ依頼

×小中学校で容量に違いがあり、コンテナの調達など初期投資が必要となる。

【案2】近隣小学校から搬入

×富本小・・・○大久保小への距離3.6kmで最寄り、搬送想定時間6分程度。

×食器洗浄機が故障しており、現在手洗いで対応。古い機材で修繕費が嵩んでしまう。

△戸沢小・・・△距離3.9kmで次点、搬送想定時間6分程度。

×給食施設が2階にあり搬出不向き。エレベーターはあるが不調気味で、修理費は高額になる見込み。

○西郷小・・・△距離5.7km、最も遠くはなるが搬送想定時間9分程度。

○認定こども園への親子給食実績があり、令和8年3月閉園のため余裕ができる（令和9年見込150食。実質35食のみ増）

○スチームコンベクション（多機能加熱調理機）が設置されている。

【今後検討すべき事項】

- ・搬送業者の選定
- ・調理委託業者への説明（年度途中での人員異動）
- ・搬入時の保管場所
- ・保護者説明

《委員からの主な意見等》

- ・一番近い富本へ、改修中の大久保から食洗器を運び利用できないか ⇒ コンベア式で大型のため困難で、費用もかかってしまう。
- ・現在の大久保小食洗器は、統合後、食器が増えても対応できるか ⇒ 対応可能。また、経費削減のため、閉校する学校の利用可能な機器は大久保へ運び、活用する見込み。

- ・西郷小の親子給食の経験値は強みである。
- ・搬送時間も3分程度の差であれば問題ないのではないか。

③工期について

スケジュール表では令和9年6月～12月の7カ月間。ランチルーム方式から、外部搬入方式、内部配膳方式と給食提供方式が頻繁に変わってしまうことの懸念や、調理師の再配置、また、経費削減のため閉校する学校の調理器具を利用することを想定しており、卒業式後でなければ移動できないことから、工期を3カ月ずらし令和9年9月～令和10年3月としたい。

《委員からの主な意見等》

- ・卒業式前に自校給食を、そのための工期だったのでは⇒西郷からの給食であればほぼ自校給食であり、葉山学園になっても大久保で作った給食が食べられるので、さほど変わらないのではないか。また、機器の移動後に保健所の検査も必要となり時間が限られる。

No. 37 通学距離別通学方法

協議事項 スクールバス関連について

- ① 統合後のスクールバス運行について（通学距離2km以上）
- ② スクールバス整備について（中型バス1台、マイクロバス2台の追加）

【葉山中学校の状況】

中学校におけるスクールバス運行の範囲は、文部科学省の小中学校の適正配置基準によれば、中学校は6km以上、豪雪地帯における冬季間は3km以上（小学校は4km以上、冬季間は2km以上）が適正とされている。

しかし、昨今の記録的な猛暑を鑑み、通年冬季間のスクールバスでの登下校ができるよう運行している。全国的に見ても、各自治体の裁量で柔軟に対応しているケースが多い。

① 統合後のスクールバス運行について

今後も温暖化の影響により猛暑日が増加することが予想される（※）ため、スクールバスを使用し登下校の安全を確保する必要がある。

そのため、統合後のスクールバス運行範囲は、小学校の冬季間の基準を適用し、通学距離が2km以上となる児童生徒（1～9年生）を輸送することを基本として進めている。

※参考資料：「日本の気候変動2025 大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書」

2025年3月 文部科学省 気象庁

《委員からの主な意見等》

- ・特になし

② スクールバスの整備について

現在の年少児～小学校6年生（令和10年度の1年生～9年生）の数をもとにした試算によれば中型バス1台、マイクロバス2台が追加で必要となる。（現在は中型バス1台、マイクロバス1台）

《委員からの主な意見等》

- ・全員で範囲、対象者数などを図面で確認。

【今後の予定】

総合教育会議まで運行と整備の方針の確認を行う。

西部地区、東部地区での学校統合によるスクールバスの追加整備に合わせ、運転手を確保していく。

No. 41 学童保育

報告事項 学童保育関連について

- ① 学童保育の方向性について（各地域において学童保育を継続することを検討）
- ② アンケートの実施について（12月上旬実施予定）

部会において、運営事業者との擦り合わせや内部調整の状況などを口頭にて説明。アンケートについては、議会説明を経て12月上旬を予定。

《委員からの主な意見等》

- ・大久保小に統合となる場合、部屋の許容量は大丈夫か ⇒ 他の部屋が使えるか関係部署と協議していく。
- ・市としてどのような施設、学童にしていくかのビジョンが必要ではないか ⇒ 現在、市の方針はないため改めて考えていく。
- ・バスでの送迎になるのか ⇒ 下校時間も違う場合があるかとは思うが、対応したいと考えている。
- ・統合で友達と離れてしまうのはさみしいと思う。
- ・アンケートで、統合希望が多ければ統合も検討されることになると思うが、送迎が遠方になってしまふと負担が増す。少数意見にも配慮していただきたい。
- ・記名式のアンケートでも、重複回答を防止するために必要である旨を断り書きすればいいのではないか。

6台
アスファルト

+700
+225

給食施設

大久保小学校給食施設 搬入・搬出口検討図

※内部配置は未確定

校舍

屋外遊戲廣場 (土)

ブランコ・雲梯の移動

アプロ
アスフ

道路境界線

アスファルト舗装

南側乗り入れ口改修

1380

格子ファンス・コンクリート擁壁 B

門柱 -2 崑童

-1140

-950

— KBM±0 コンクリート擁壁上端

令和10年(統合時)の児童生徒数とバス利用者数

学区	全児童生徒数(人)	バス利用者数	表示色
富並小	27	A 27	地区 27
戸沢小	95	B 52	地区 52
富本小	49	C 18	地区 49
大久保小	72	D 6	地区 6
計	243	146	60.0%

A 富並小(全員)
27人

B 戸沢小1:
52人

C 30人

戸沢小2
(樽石):
12人

富本小2
(岩野):
18人

D 37人

富本小1:
31人

大久保小:
6人

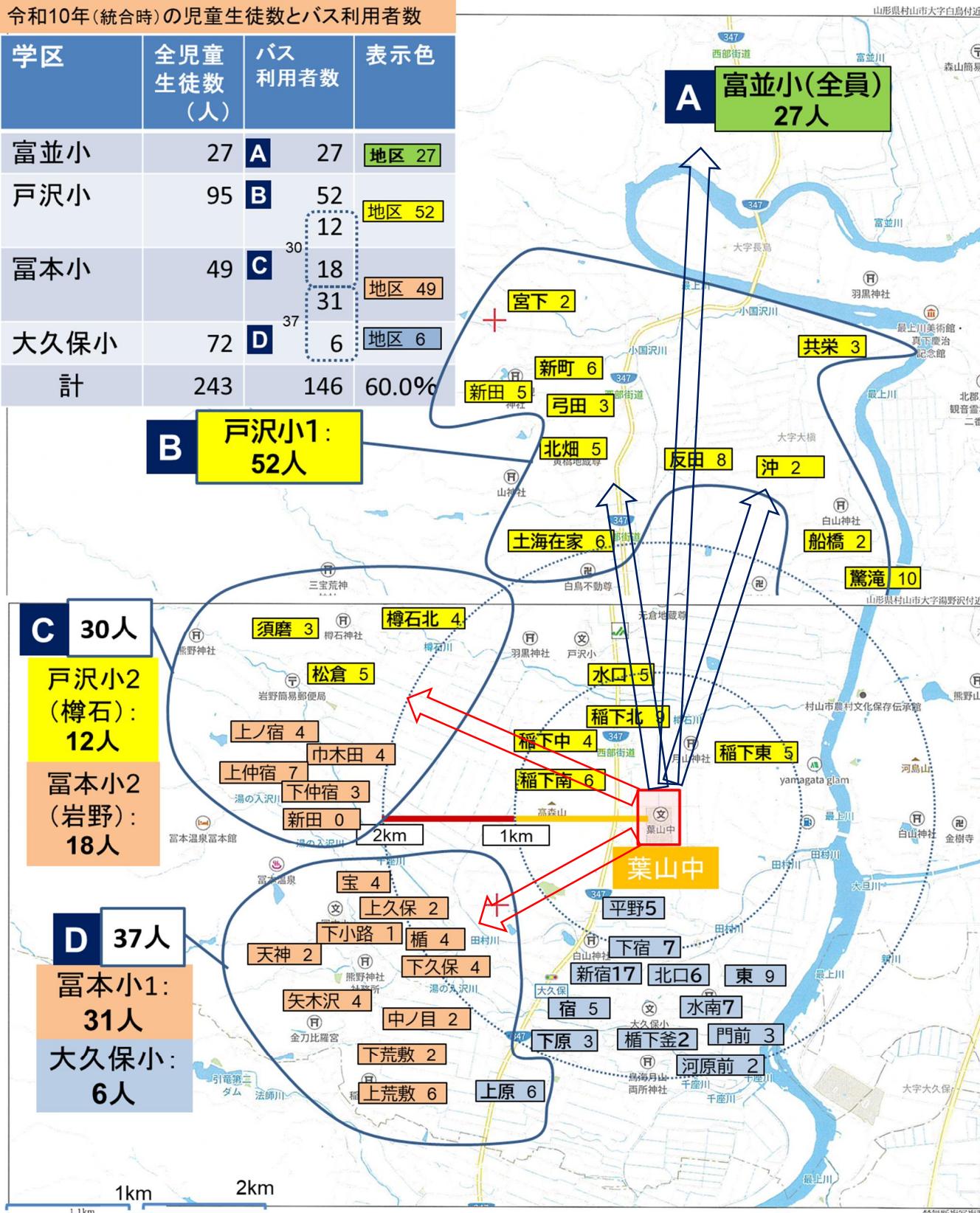
※参考:同心円距離(内円1km - 外円2km) ≈「直線距離/単純距離」
⇒ cf.「道のり距離/路程距離/実測距離」

Copyright(C)2024 ZENRIN CO., LTD.

山形県村山市大字白鳥付近

禁無断複写複製

山形県村山市



区分

車種

全長(m)

全幅(m)

定員(人)

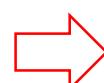
中型バス

・日野 メルファ
・いすゞ ガーラミオ

8.99

2.34

44



中型バス

小型バス
(マイクロバス)

・三菱ふそう ローバー

6.99

2.01

29



マイクロバス

令和7年12月 日

葉山中学校区にお住いの
年少児から小学校3年生までのお子さまと、
その保護者の方へ

村山市子育て支援課長
(公 印 省 略)

小学校統合に伴う学童保育に関する
アンケート調査について (回答のお願い)

村山市立小学校統合基本計画により、西部地区（葉山中学校区）の小学校4校は新しく義務教育学校「葉山学園」として、令和10年4月に開校が予定されています。市では、小学校統合に伴い、学童保育（放課後児童クラブ）について検討しています。

つきましては、下記の要領でアンケート調査を実施しますので、お子さまとご相談の上、回答フォームからご回答くださいようお願いいたします。

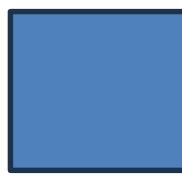
記

対象者 葉山学園開校時に1年生～6年生となるお子さまとその保護者
(現在の年少児から小学校3年生までのお子さまと、その保護者の方)
※該当するお子さまごとにご回答ください。

回答期限 令和7年 月 日 ()

回答方法 回答フォームからの電子回答、
または、回答用紙を市役所子育て支援課へ提出

不明な点等は、担当までお問い合わせください。



回答フォーム

【学童保育とは】

保護者が仕事等で昼間家庭が留守になる
1年生から6年生までを対象に、授業終了後
や学校休業日に、適切な遊びおよび生活の場
を提供する事業です。

お問い合わせ
子育て支援課 家庭支援係
担当：滝口 雄太
電話 55-2111 内線 162
kosodate@city.murayama.lg.jp

【回答用紙】

※回答フォームからのご回答にご協力ください。

村山市子育て支援課

小学校統合に伴う学童保育に関するアンケート(案)

現時点では、小学校統合後もこれまでどおり、現在の小学校区ごとに学童保育施設を設置し、利用していただくことで検討しております。送迎については、葉山学園から各学童保育施設まではスクールバスで送り、学童保育終了後はこれまでどおり保護者の方がお迎えに来ていただくことを検討しております。また、長期休暇(夏休みなど)は、これまでどおり、送りとお迎えは保護者が行うことになります。

つきましては、下記の内容についてアンケート調査を実施しますので、回答フォームからご回答くださいますようお願いいたします。また、用紙で提出する場合は○を付けるか、記入してください。

・Q1:お住まいの地域をお選びください。【必須】

- ① 大久保 ②富本 ③戸沢 ④大高根

・Q2:現在の学年をお選びください。【必須】

- ① 年少 ②年中 ③年長 ④小学校1年生 ⑤小学校2年生 ⑥小学校3年生

・Q3:お子さんのお名前をご記入ください。【必須】※カタカナでご記入ください。重複回答防止のため、ご協力ください。

[]

・Q4:葉山学園に統合後、学童保育を利用する予定はありますか。【必須】

- ① はい→Q5へ ②いいえ→アンケートは終了です。ありがとうございました。

↓

(Q4で「①はい」とご回答いただいた方へ)

・Q5:統合後の学童保育施設は、どこを利用したいですか。【必須】

- ① 現小学校区
- ② 統合した形での学童保育施設(現・大久保小学校)
- ③ その他の場所(具体的にご記入ください。) ()

・Q6:小学校統合後の学童保育について、Q5でご回答いただいた理由や、ご意見などがあればご記入ください。(自由記載)

アンケートは以上です。ありがとうございました。

小学校統合に伴う学童保育のあり方に関するアンケート調査（対象児童数） 令和7年10月14日（火）集計

	大久保	富本	戸沢	大高根	合計
年少児 (R3.4.2～R4.4.1生)	6	3	8	3	20
年中児 (R2.4.2～R3.4.1生)	2	2	12	2	18
年長児 (H31.4.2～R2.4.1生)	6	6	7	5	24
小学校1年生	5	7	11	2	25
小学校2年生	6	7	12	2	27
小学校3年生	10	5	12	4	31
合計	35	30	62	18	145

（総数145人）

(4) No.5 制服・体操着(協議)

学校における制服と標準服

	制服	標準服
定義	一般的に学校で必ず着用することが求められるもの。	学校などの組織において所属する児童や生徒が着用することが望ましいとされる服装。
目的	学校としての統一感を持たせ、愛校心や帰属意識を高める。	個人の服装の自由をある程度認めながら、式典等のフォーマルな場面での統一感を保つ。
学校指定のデザイン	デザインが決まっており、学校指定のものを購入。	学校が推奨する色や形がある。
購入先	学校指定の呉服店等で注文して購入。	多くは学校指定がなく、量販店等からの購入も可。

- 全国的に標準服を採用する公立の小学校が少しずつ増えている。
小学校（私立を含む）での標準服採用率は全国平均で約20%。四国が約70%、中国は約61%、近畿約31%。（2023年 朝日新聞より）
- 標準服の取り扱いについては学校により異なり、制服のように強制力の強い学校、制服と標準服からどちらを着るか選択する学校、着用については個人の判断に委ね、標準服と私服が混在している学校などもある。

【大阪府豊能町 義務教育学校の例】

前期ブロック（1～4年生）… 私服

中期ブロック（5～7年生）… 標準服

上衣 セーター、カーディガン等（推奨品）、襟付きのシャツ

下衣 ズボン、スカート、キュロット、ハーフタイプズボンから選択（指定）

後期ブロック（8～9年生）… 標準服

上衣 ブレザー（指定）、襟付きのシャツ

下衣 ズボン、スカート、キュロットハーフタイプズボンから選択（指定）

多様性や経済的負担の軽減等から上衣（ブレザー）と下衣（ズボン、スカート、キュロット、ハーフタイプズボンから選択）を指定した服装を「標準服」と定め、日常的に着用としている。

武小学校の標準服について

(標準服は制服ではなく、服装の基準となるものです。)

	基準色	その他特記事項
上着	紺（無地）	○襟のないもの。 その他のデザイン（ダブル／シングル等）について特に決まりはなし。
カッターシャツ ブラウス ポロシャツ	白（無地）	○襟のあるもの（半袖・長袖）。 その他のデザインについて特に決まりはなし。
ベスト セーター トレーナー (※寒いとき)	黒／紺／白（無地）	○寒い時に着用可（着用の際は必ず上着を着ること）。 ○フード付きは着用不可。
ズボン スカート	紺（無地）	○ズボンは半ズボン。 ○スカートは膝丈プリーツの吊タイプ。 その他のデザインについて特に決まりはなし。
靴下	白	○足首が全部隠れ、長いものでも膝下までとする。
靴	白	○運動に適した運動靴。
上靴	白	○つま先部分の色は自由。
通学帽 (体育帽)	赤白	○購買部で販売 登下校時には必ず着用。 1年生は赤色、2~6年生は白色をかぶる。
ネーム	-	○購買部で販売 一番上に着ているものに付ける。 登下校時には黄色の面を表にする。 校内では名前が見えるようにする。

※ 標準服は、衣料品店（京屋／中央町 他）や、量販店、通信販売等で各自御購入ください。

※ 着用するものすべてに記名をお願いします。

※ おさがりや前の学校（転入生）のものを使っても構いません。

※ 標準服装の例外や極寒時の服装、体育や掃除時の服装等については、新年度に配布する「武小学校における服装等のお知らせ」で御確認ください。

★ 御参考までに標準服の着用例を次ページにて掲載します。

葉山中学校 制服等指定品目等一覧

令和7年10月現在

	男子	価格（円）	女子	価格（円）
制 服	ブレザー	31,120	ブレザー	30,230
	スラックス（冬）	17,200	スカート	17,960
	ネクタイ	4,780	リボン	2,460
	長袖Yシャツ	4,620	長袖ブラウス	4,620
	ベスト	7,780	ベスト	7,780
	白ソックス（3足セット）	1,490	白ソックス（3足セット）	1,490
	半袖開襟シャツ	4,620	半袖ブラウス	4,620
	夏用スラックス（希望者）	16,030	夏用スラックス（希望者）	17,180

【1人当たり購入額】 (シャツ、ブラウスは2枚ずつ購入として計算)

男子	(冬) 70,120円、(夏) 25,270円	計	96,880円
女子	(冬) 67,660円、(夏) 26,410円	計	95,580円

	男女共通	価格（円）
	トレシャツ	4,820
	トレタイツ	4,300
	半袖Tシャツ	2,410
	ハーフパンツ	3,110
	白帽子	1,860

【1人当たり購入額】 (半袖Tシャツは2枚ずつ購入として計算)

計 18,910円

	男女共通	価格（円）
カバン	指定背負いカバン	8,300
シューズ	内履き	4,650
	外履き	4,900

【1人当たり購入額】 計 17,850円

1人あたりの購入総額	男子 133,640円
	女子 132,340円

（復命書）村山市立小学校西部地区統合準備委員会 第3回葉山学園制服分科会

下記の通り報告いたします。

日時	令和7年10月27日（月） 18時30分～20時45分	会場	小集会室
出席者	14名（委員10名、教育長、事務局3名）（欠席2名：矢作委員、大竹先生）		
内容	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ【教育長】 制服分科会の委員をお引き受けいただきありがとうございます。子どもたちにとって制服等については大事なものひとつである。 ここで、義務教育学校設置の経緯について話をさせていただきたい。（資料に基づき説明） 義務教育学校と制服についてだが、先行している萩野学園、明倫学園は、保護者からのアンケート結果は7年生からだったが、5年生からということで決着した経過もあるようだ。</p> <p>松田委員）義務教育学校のブロックを考えると5年生からのような気がする、、、卒業生が寄附してくれるようなシステムがあれば、経済的な面ではいい。</p> <p>三原委員）経済的に困っている人に制服を貸すような制度だったが、今年から制服リサイクルということを母親委員会で始めることにした。</p> <p>大沼委員長）葉山中学校で、寄附によるおさがり制服についてはこれまで経済的な家庭に声掛けをしていたが、在庫が増えたため、通年で制服交換を始めることにした。</p> <p>大沼委員）明倫学園がアンケート結果と違う、5年生から制服にした根拠を知りたい。</p> <p>教育長）準備委員会のようなところで、委員長が教育的意味を説明したようだ。その結果委員からも、やはり5年生からではという意見がでて、最終的には、学校の先生方が授業しやすいやり方、教育方針に合わせて、萩野学園と同じようにという結果になったようだ。</p> <p>青柳委員）5年生から制服を着た場合どのくらい買い替えが必要かのデータもっているか。</p> <p>教育長）データはないが、萩野学園はリサイクルシステムを使っていると聞いている。</p> <p>青柳委員）5年生から着せるというのがブロックに無理やり合わせているように思うが、そういう必要があるか。</p> <p>教育長）5年生に制服を着て大人だという気持ちを育てたい。前期ブロックとはちょっと違うという意識を持たせたい。きちんとした制服ではなくても、統一感のある服装を。</p> <p>青柳委員）統合の経過として当初、増築から改築になった状況等もあり、当初の地域の人のイメージとも違ってきている。制服は今までいいから、できるだけ早く進めてほしい。</p> <p>松田委員）ほかの学園とはちがう制服の着せ方でもいいのでは。7年生からでもいい。</p> <p>教育長）教育課程の組み方、部活動への先行入部、教科担任など、自由度が高いのがこの義務養育学校である。あたらしい特色を出せる。</p> <p>鈴木委員）統合アンケートでも、義務教育学校に対する賛成意見が少なかった中でひっくり返したことに、保護者や地域から批判的な意見が多かった。制服もアンケートの結果と違うようになった場合、私たちが保護者を納得させられる自信がない。</p> <p>教育長）子どもたちのことを一番に考えた結果にしたい。</p> <p>青柳委員）様子を見て（数年たってから）5年生からの制服を考えられないか。</p> <p>荒井先生）制服と標準服についての考え方を先に説明してもらえるとまた新しい考え方ができるのではないか。</p> <p>3 協議【座長：大沼委員長】 (1) 統合準備委員会報告（P1-2に基づき補佐説明）</p>		

(2) 制服と標準服について (P3-5 に基づき補佐説明)

大沼委員長) 制服をいつから決めるかについては、①経済的な面、②教育的な面の 2 点から考えていかなければならないのではないかと思う。そこで標準服という考え方を提案していただいたのだと思う。

荒井先生) 教育の面から、教育方針の中で多様性を考えた場合には標準服はありだと思う。井戸先生) 5 年生から制服となると、経済的な面からは標準服のほうがいいのかもしれないが、高校入試に影響しないのか。

大沼委員長) (←高校教員) オープンキャンパスは問題ない。入試も問題ないと思う。

増川先生) 小学生は動きが多く服の痛みが多いと思うので標準服がいいのでは。夏は選べるポロシャツとか。

大沼委員長) 発達段階の前倒しや、部活動にも参加させるなどから考えて、制服は一体感を生むものだと思っているから 5-7 年は同じにしたい。7 年生だけを別にするのはどうかと思う。標準服があれば、2 本の柱の両立、経済的な柱と教育的な面を両方立たせられるのでは。

(3) 制服の着用学年について

青柳委員) 5-9 年生で標準服ではどうか。

青柳委員) 制服も着せたいので 5-6 が標準服、7-9 年生は制服がいいと思う。

増川先生) 5-7 標準服、8-9 制服、義務教育学校の特色も出るのでは。

荒井先生) 5-7 は標準服 (緩め) 8-9 は標準服を固くするとか。

井戸先生) 5-7 標準服、8-9 制服、7 年をどちらでもよくしてはどうか。

三原委員) 5-7 標準服、8-9 制服。制服を着せるとピシッとするので着せたい。

松田委員) 特色を出すという意味からもほかの学校と違う 5-6 年生もユニフォームを着るというのはいい。が、アンケートの結果についても考慮したいので、制服を 7 年生からというのがいいのでは。

鈴木委員) ブレザーのみを制服とし、他は自由でも。

大沼委員) アンケートの結果を生かしたい。7 年生から制服を着せたい。サイズアウトが気になる。ほかの保護者からの意見として制服は 7 年生からにしてほしいといわれてきた。

大沼委員長) 結果として、5 年生から標準服という意見を多くいただいた。制服は 7 年生からか 8 年生からかで割れた。

分科会としては 5 年生から標準服とし、8 年生から制服、7 年生は移行期とするでどうか。

大沼委員長) 5 年生から標準服はいいが、7 年生から制服として中期ブロックのリーダーとしての意識づけをしていくはどうか。

青柳委員) 制服の価格がもう少し抑えられるのであれば 2 年でもいいと思う。

大沼委員長) 制服の価格を抑えるという条件で 8 年生から制服ということでいいのではないか。

4 その他

11/27 の準備委員会で報告し、12 月ごろに第 4 回の会議を行う予定。

5 閉会